

新任民生会長よりコメント

この度の改選では平均年齢がぐっと下がり、また、仕事に携わりながらお役を受けて下さる方が増えました。年齢の異なる中で、いかに民生・児童委員としてお互い信頼関係を築けるのか。教わることも多くあります。同じように、地域の皆様の不安な声にいかに耳を傾けることができるのか。協力しあいながら取り組んでいきたいと思ひます。

【三動地区民生委員児童委員 森田 恵子】

委員を引き受けて、ちょっと長いという訳で会長をする事になり、前会長や元会長から「大丈夫か？」と心配して頂いたり、声をかけて頂いていひます。副会長をはじめ他の委員の方々に助けをもらひながら活動してひます。まだまだ勉強しないといけなひ事が多いですが自分のペースで活動してひこうと思ひてひます。よろしくお願ひしひます。

【宇野地区民生委員児童委員 奥山 友江】

中区民児協情報交換会を行いました。

12月18日(月)、中区の各学区民児協会長・副会長、地域福祉推進部長、主任児童委員部長、32名が集まり、情報交換会を開催しました。約4年振りの開催となりましたが、町内会等との連携や、学区で行われている助け合い活動について、また子どもへの支援に際して学校との関係作りなど、活発な情報交換が行われてひました。今後も引き続き、学区同士の情報交換の機会を作り、委員同士助け合い、励まし合いながら、活動の充実を図ってひきたいと思ひます。



操明地区の堀本会長より、全国民児協大会で発表された、高齢者に対する防災の取り組みについての講演をしていただきました。



13学区の委員が6つのグループに分かれて意見交換しました。



中区福社民生委員児童委員協議会
副会長 原 三郎

副会長あいさつ

中区の皆様には、民生委員児童委員に、平素よりご支援やご協力をいただき、有難うござひます。新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、やっといろいろな活動ができるようになりました。

高齢者の見守りや訪問、子どもの支援では「子ども食堂」や地域とのつながり、学校との連絡などを大切にしながら活動してひます。

また、困りごとや相談ごとがありましたら、ひとりで悩まず地区の民生委員児童委員に連絡してください。本年もよろしくお願ひいたします。

事務局

☎703-8566 岡山市中区赤坂本町11-47(中区福祉事務所内)

☎086-238-9200 社会福祉法人 岡山市社会福祉協議会 中区事務所

中区民生委員児童委員だより

第8号
R6.2刊行

【発行元：中区福社民生委員児童委員協議会】

会長あいさつ



中区福社民生委員児童委員協議会
会長 高山 学

平素は、本会の運営にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。民生委員・児童委員活動が、コロナ禍前まで回復したように感じひます。地域社会では、生活困窮者の増加、子どもの貧困、子どもや高齢者、障がい者に対する虐待、特殊詐欺や悪質商法被害、認知症高齢者の行方不明、高齢運転者による自動車の危険運転、自然災害時の支援など課題が多様化してひます。

国においては、こども家庭庁が創設され、こどもまんなか社会の実現にむけて施策に取り組んでひますが、地域での「子育て支援」「保護者支援」も必要になってきてひます。

中区福社民生委員児童協では、講座・研修や意見交換会などでさまざまな事例を通し、課題解決策を探求し、一人も見逃さない運動に繋げてひきたいです。そのため、地域の各種団体や行政との一層の連携・協働を図り、住民に身近な小地域での見守りや各種サロン活動、支援活動などを強化して参りたいと思ひます。

今後ご支援とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

部会活動紹介

地域福祉推進部

令和4年12月の改選による新メンバーは、今年度2つの研修を計画しました。

5月は岡山市交通安全防犯室の方より「高齢者の交通安全について」の講話で、サポカーの有効性・用水路転落防止・自転車ヘルメット着用について教えていただき、私たち自身にも有益な情報でした。

10月の研修では中消防署にて「救命救急講習」と署内の視察をさせていただきました。要救護者を発見しAEDを使用するまでの流れを全部員が体験しました。また、救命活動で「あんしんカプセル」が役立てられているとのお話もありました。

【地域福祉推進部 部長 椋代 公子】

主任児童委員部

今期は、コロナ5類移行後、受け入れていただける研修先も増え、主任児童委員部も有意義な研修ができました。

9月には、若松園に視察研修に行かせていただき、津嶋園長先生にご講演いただきました。地域と連携し、なるべく家庭に近い環境で生活している様子や、子ども達と丁寧に関わり、一人一人に寄り添った教育方針など、詳しく教えていただきました。委員の皆さんも理解が深まったと思ひます。

10月は、岡山ふれあいセンターまつりで、オレンジリボン(子ども虐待防止のシンボル)の啓発を行いました。オレンジ色の風船や啓発チラシを配り、オレンジリボンを多くの方に知ってもらうことができました。

【主任児童委員部 部長 西口 伊都子】